

令和3年6月10日、自民党の「地域包括ケアシステム・介護推進議員連盟」の総会に、森副会長と佐々木事務局長が出席してきました。この議連の会長は麻生太郎財務大臣兼副総理であり、昨年12月には介護団体24団体の連名で、令和3年度介護報酬プラス改定に関する要望書を出した経緯があります。



▲会場の様子



▲挨拶される麻生太郎会長（財務相・副総理）

- 日時 令和3（2021）年6月10日 11:00～11:50
- 場所 衆議院第2議員会館 多目的会議室
- 次第 下表のとおり

1.開会	事務局長 橋本岳衆議院議員
2.会長挨拶	会長 麻生太郎財務相兼副総理
3.議事 ①令和3年度報酬改定の結果報告 ②介護施設におけるコロナ対応等	①全国老人保健施設連盟 福島啓祐委員長 ②(一社)全国介護事業者連盟 斎藤正行理事長
4.出席団体紹介	参加15団体
5.厚生労働省よりヒアリング	厚生労働省老健局長 土生栄二氏
6.意見交換	出席議員および参加介護団体
7.閉会	会長代行 山口俊一衆議院議員

意見交換の際には、当協会から森副会長が挙手し、在宅介護事業者へのワクチン接種がまったく進んでいない状況を訴えました。職域接種もひとつの接種場所で1000人規模が必要であり、中小事業者の多い在宅系では現実的でないことも伝え、行政側の支援を要請しました。協会では、引き続き在宅系事業者へのワクチン接種を模索してまいります。